

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|-------|--------------------|
| 公表 | |
| 事業所名 | てらびあぼけつと相模原駅前教室 |
| 公表日 | 令和8年 1月 20日 |
| 利用児童数 | 37 人 家庭数 3 回収数 30人 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|----|--|-----|---------------|-----|-------|--|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 28件 | 1件 | | 1件 | ・集団と個別の場所が分けてあり、十分なスペースだと思う。 ・動く活動も十分できています。 | ・今後も安全に活動を行うことができるよう、工夫してまいります。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 29件 | | | 1件 | ・一対一でついていたっている。 | ・引き続き継続してまいります。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 29件 | 1件 | | | ・シンプルな作りや環境で分かりやすいと思います。 | ・引き続き継続してまいります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 30件 | | | | ・いつも清潔できれい。 ・そう思う。 | ・引き続き清掃をこまめに行ってまいります。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 29件 | | | 1件 | ・子どもに合わせた支援を受けさせてもらっている ・まだ始めたばかりなのでそうであって欲しいと思います。 | ・引き続き一人一人に寄り添った支援を行うことができるよう精進してまいります。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 30件 | | | | ・合っていると思う。 | ・引き続き継続してまいります。 |
| | 7 | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 29件 | | | 1件 | ・面談での話をもとに内容が設定してもらっている。 ・作成されている。 ・まだ始めたばかりなのでそうであって欲しいと思います。 | ・引き続き一人一人に寄り添った支援を行うことができるよう精進してまいります。 |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 30件 | | | | ・設定されている。 | ・引き続き継続してまいります。 |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 30件 | | | | ・行われていると思う。 | ・引き続き継続してまいります。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 25件 | 3件 | | 1件 | ・家や園での様子を伝えるとそのこともすぐに支援に取り入れてもらっている。 ・工夫されていて様々な形でプログラムをされていると思う。 | ・個別の支援を行っているのでお子様の様子や状況によってはプログラムを継続して行う必要があると判断させていただく事もございます。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。 ・嬉しいお言葉もいただき、ありがとうございます。引き続き少しでも皆様のお力になれるよう精進してまいります。 |
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 14件 | 3件 | 5件 | 8件 | | ・現段階では必要と考えておりません。 |
| 保護者 への 説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 30件 | | | | ・説明があった。 | ・引き続き継続してまいります。 |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 30件 | | | | ・説明があった。 | ・引き続き継続してまいります。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 19件 | 6件 | | 4件 | ・特別な研修会はないが、日々のやり取りで情報提供をしてもらっている。 | ・今後も必要に応じて行ってまいります。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 30件 | | | | ・毎回のフィードバックで先生と話すことができ、安心できる。 ・出来ている。 | ・嬉しいお言葉ありがとうございます。励みになります。毎回、フィードバック等でお話する機会を設けております。今後も引き続き継続してまいります。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 30件 | | | | ・行われている。 | ・引き続き継続してまいります。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 30件 | | | | ・とても共感的でありがたい。 ・支援されていると感じる。 | ・嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き少しでも皆様のお力になれるよう精進してまいります。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 6件 | 6件 | 7件 | 10件 | ・毎回の送迎時に保護者の方と会えるので交流の機会になっている。 | ・現段階では交流会などの実施は考えておりませんが、開催希望の方が多数おられるようでしたら、実地を検討したいと思います。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 25件 | 2件 | | 3件 | ・対応してもらっている。 | ・その都度、ご相談に関して丁寧に迅速に対応できるよう精進してまいります。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 28件 | | | 1件 | ・そう思う。 | ・引き続き継続してまいります。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|-----|----|--|----|--|--|
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 22件 | 2件 | | 6件 | ・定期的なお便りやブログでは発信されている。 | ・定期的に発信させていただいております。Instagramを開設したので併せてご確認ください。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 28件 | | | 1件 | ・そう思う。 | ・引き続き継続してまいります。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 27件 | | | 2件 | ・ブログやお便りで訓練等について発信されていて安心できる。 ・訓練の様子を知らせてもらっている。 | ・各マニュアルは玄関の下駄箱上に置いております。ご確認をお願いいたします。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 25件 | 1件 | | 4件 | ・行われている。 | ・定期的に訓練を行っております。訓練をした際にはお便りにてお知らせをしております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 27件 | | | 3件 | ・行われていると思う。 | ・安全に配慮し、日々のヒヤリハットを共有しています。今後も引き続き継続してまいります。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 25件 | 1件 | | 4件 | ・されていると思う。 | ・怪我の際には保護者に経緯を説明させていただいております。今後も怪我等が無いよう配慮してまいります。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 30件 | | | | ・子どもが無理なく取り組めるよう考えて下さりありがたいです。 ・先生方の事が好きで安心して通っています。 | ・今後も引き続き安心して通所して頂けるよう支援してまいります。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 26件 | 4件 | | | ・行渋りが酷い時、色々に対応して頂き、助かりました。 ・楽しみにしています。 ・毎回楽しみにしています。 | ・今後も皆様に楽しんで通ってもらえるよう職員一同精進してまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 30件 | | | | ・いつも丁寧に対応してくださり、満足しています。 ・丁寧な対応や支援をしてくださり満足しています。 | ・嬉しいお言葉や評価をたくさんいただき、ありがとうございます。職員一同、とても励みになっております。今後も引き続き、精進してまいります。 |

| 事業所における自己評価結果 | | | | | | |
|---------------|----|--|----|-----|---|-----------|
| 公表 | | | | | | |
| 事業所名 | | てらびあぽけっと相模原駅前教室 | | | | |
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6件 | 0件 | 安全に配慮して支援できるようにしている。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6件 | 0件 | 適切である。グループ支援を行うなどして臨機応変に対応している。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6件 | 0件 | 室内は段差がなく安全に配慮されている。マークなども活用し分かりやすくしている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6件 | 0件 | 毎日清掃を行っている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6件 | 0件 | 個室があるので十分対応が出来ている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6件 | 0件 | 職員と話し合ったうえで進められるようにしている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6件 | 0件 | ガイドラインアンケートを行い、改善に努めている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6件 | 0件 | 振り返りの時間を設け、思っていることや不安な点を話せる環境を作っている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6件 | 0件 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6件 | 0件 | 研修を行う機会がある。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6件 | 0件 | 日々職員で共通認識を深め、作成をしている。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6件 | 0件 | アセスメントを細かく取るようにしている。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6件 | 0件 | 他職員の意見を聞いたり、日々の振り返りでの話も聞きながら立案している。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6件 | 0件 | 共有し、常に見ることが出来るようにしている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6件 | 0件 | データに残すことでどの職員も把握が出来るようにしている。 | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6件 | 0件 | 踏まえて考えることが出来るようにしている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6件 | 0件 | 疑問点は話し合いながらチームで考えている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6件 | 0件 | 様々な職員が入ることで支援を工夫している。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6件 | 0件 | 適時組み合わせ、臨機応変に対応できるようにしている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6件 | 0件 | 朝礼を行い確認をしている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6件 | 0件 | 毎日の振り返りを欠かさずに行っている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6件 | 0件 | 記録を残し、共有が出来るようにしている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6件 | 0件 | モニタリングを行っている。必要であれば見直しをしている。 | |
| | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6件 | 0件 | 会議等では、児童発達支援管理責任者が参加している。 | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6件 | 0件 | 協力医療機関と連携を図っている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|----|----|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6件 | 0件 | 保育所・幼稚園等必要に応じて情報共有や連携を図っている。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6件 | 0件 | 必要に応じて就学時のフォーマットの記入や情報共有を行っている。 | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | | | | |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 5件 | 1件 | 分からないことがあれば確認をしたり、研修に参加している。 | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 2件 | 4件 | | 現段階ではそのような機会はない。イベント開催をしていないので何か検討できか考えていく。 |
| 保護者への説明等 | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6件 | 0件 | フィードバックの時間を多く設けることで共通認識を深めている。 | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4件 | 2件 | フィードバックでの助言や対応のご提案を行っている。 | ペアトレに関しては必要な方に分かりやすく提示していく必要がある。 |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6件 | 0件 | 契約時や変更があった際にはお伝えをしている。 | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6件 | 0件 | ご家族の意見を聞きながら作成している。 | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6件 | 0件 | ご説明をさせていただいている。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6件 | 0件 | 毎回30分話す時間を設けている。メモで残すことで職員間で内容も共有できている。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 1件 | 5件 | 保護者会等は設けていないが、フィードバック時に複数名で集まる場を設けている。 | 保護者会の開催は難しかったが、再度出来そうな時期や内容の検討をしていく |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6件 | 0件 | 一人に対応せず、職員間で共有し、お答えすることが出来るようにしている | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6件 | 0件 | 定期的にブログの更新を行っている。 | ブログやお便りで発信している。インスタも始めたが、周知できるように継続していく。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6件 | 0件 | 研修を行っている。留意している。 | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6件 | 0件 | 分かりやすく伝える。言葉だけではなく文章でも伝えるなど工夫をしている。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1件 | 5件 | | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6件 | 0件 | 訓練や研修を行っている。 | マニュアルの存在や訓練についてはしっかり発信しているがお便りやブログ等で伝えているので見ている方とそうでない方で周知の差が激しい。様々な媒体で伝えていく。 |
| | 46 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6件 | 0件 | 訓練や研修を行っている。 | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6件 | 0件 | 契約の際に確認を行っている。 | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5件 | 1件 | 食事は無いがアレルギーの確認は契約時等に行っている。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6件 | 0件 | 安全計画に沿って見直しを行っている。 | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6件 | 0件 | 研修等を行った際にはお便りにてお知らせし、定期的に安全についてのお知らせもしている。 | |

| | | | | | | |
|--|----|--|----|----|---|--|
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6件 | 0件 | ヒヤリハットを記入し、研修を行っている。(振り返りを行うようにしている) | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6件 | 0件 | 虐待防止研修を行っている。少しでも違和感を抱いたら職員間で共有するようにしている。 | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 6件 | 0件 | 会議を行っている。契約時にご説明をしている。 | |

| 事業所における自己評価総括表 | | | | |
|----------------|----------------------------|----|--------|---|
| 公表 | | | | |
| ○事業所名 | てらびあぼけつと相模原駅前教室 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 12月 1日 ～ 令和7年 12月 31日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 35 | (回答者数) | |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 12月 1日 ～ 令和7年 12月 31日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) | 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 1月 10日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | ABAを活用した個別をメインとした一人一人に合わせた支援の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・本部で行っているABAのセラピスト試験に受け、スキルアップの向上を図っている。 ・アセスメントをしっかりと行い、スモールステップでプログラムに取り組めるようにしている。 ・プログラムの進め方について話し合いを行ったり、一人一人についての振り返り等も細かく行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修や試験を引き続き行っていく事で、より質の高い療育を提供することができるようにしていく。 ・日々の情報共有をしっかりと行い、一人一人に合った支援を考え実施していく。 |
| 2 | 職員と保護者の方が話しやすい環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックの時間を多く設けている。 ・職員間で共有し、ご相談内容に関して少しでも力になれるよう話し合いを行っている。 ・相談をその都度聞くことができる。また、何気ないお話や会話の中から日々の療育に活かすことができるようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談内容に応じた対応の仕方を明確化する。対応が遅れる・返答がない等のことが起こらないようにする。 ・返答が難しい時には、一人で対応せずにチームで対応していく。 ・引き続き、共有をしっかりと行っていく。 ・相談に対する対応力の向上を図っていく。 |
| 3 | ソーシャルセラピー(共同療育)の実施 (個別支援で学んだことを少人数の活動の中でも発揮し、成功体験を得る場) | <ul style="list-style-type: none"> ・お友達との関わりが少ない子に関してまずは他者に興味を持つ第一歩になるよう支援している。 ・子ども同士のやり取りを職員が間に入り丁寧に支援することで人と関わる楽しさを知ることができるよう支援している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルセラピーの実施については課題やニーズの違いもあるので、実施していないお子さんも多い。 ・少しずつ実施できる回数を増やすことができるようにしていく。 ・職員一人一人の技術も高めていき、どの利用者にも実施できる体制を整えていく。 |
| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
| 1 | 保護者同士の交流する場を設けられていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流を望まない保護者も多数いる ・開催する日程確保の難しさ | <ul style="list-style-type: none"> ・開催する日程を4月5月等の利用者人数が落ち着いている時期に実施を検討する。 ・ニーズ把握を行うとともに、どのような内容が良いか検討していく。 ・保護者のみ参加の交流会であれば、職員の人数調節も行えるため、実施がしやすいかもしれない。 |
| 2 | 大人数での療育の実施 | <p>個別支援が強みなので、大人数での療育が出来ないのは弱みでもある。</p> <p>小集団活動やソーシャルセラピーの実施も行っているが、大人数での実施ではないので環境的にも難しい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・集団で難しい・課題の部分を丁寧に支援することができる点は強みの部分なので、引き続き小集団・ソーシャルセラピーの実施を行っていく。 ・人気のある時間枠は受け入れ人数を増やし、利用できるようにする。 ・年齢や課題で利用時間を分け、小集団で実施できる体制をとる。 ・ニーズの確認をし、小集団での活動の実施を増やしていく。 |
| 3 | 送迎がない・提携の駐車場がない | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎の実施はしていない為、利用者の確保が限られている。 ・駐車場がないので、利用者は近隣のコインパーキングを利用して頂いている。車利用者からすると利用しづらさがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境的に変更は難しい。 ・駅から近いので、駅近という利点をアピールしていく。 |